

交通事故発生状況（平成23年7月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管区内各県の死者数

区分	死者数	増減数	増減率
全国	2,466	-106	-4.1
管区計	305	-19	-5.9
富山	31	+6	+24.0
石川	24	-9	-27.3
福井	32	+14	+77.8
岐阜	48	-23	-32.4
愛知	121	+7	+6.1
三重	49	-14	-22.2

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数
平成23年	6,032	48	7,945
平成22年	6,707	71	9,005
増減数	-675	-23	-1,060
増減率	-10.1	-32.4	-11.8

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成23年	7	5	8	5	8	6	9	—	—	—	—	—
平成22年	8	10	12	7	12	11	11	15	4	19	9	15
増減数	-1	-5	-4	-2	-4	-5	-2	—	—	—	—	—

(4) ブロック別の死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	高速隊
平成23年	14	5	11	5	9	4
平成22年	19	12	11	9	14	6
増減数	-5	-7	0	-4	-5	-2

【平成年間の死者数推移】

年別	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
7月末	122	145	112	145	132	131	142	129	147	150	108	134	113	114	94	115	74	85	85	74	65	71	48
年間	247	272	246	263	236	239	268	219	251	249	202	222	224	203	186	194	157	155	164	141	125	133	—

2 死亡事故(48件、48人)の特徴

今年の死者数48人は昨年を23人下回り、全国での岐阜県の位置は、増減数ベスト1位、増減率ベスト3位である。

(1) 高齢者の死者が目立つ

高齢者の死者は20人で前年より18人減少しているが、全死者の41.7%と目立ち、状態別では歩行者6人(-7人)、自転車4人(-2人)、自動車運転者10人(-3人)である。

(2) 高齢運転者事故が目立つ

高齢運転者事故は13件で前年より7件減少しているが、全運転者事故の31.0%と目立ち、特に、9件が昼間の事故と目立つ。(全運転免許保有者に占める高齢者の率18.2%)

(3) シートベルト非着用者が目立つ

シートベルト着用対象者20人のうち非着用者が10人(運転者8人・後席同乗者2人)と目立ち、このうち8人は着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

《 参考 》

◎ 減少が目立つ事故

- 高齢者の死者 20人(-18人)
- 歩行者の死者 11人(-7人)
特に、高齢歩行者 6人(-7人)
- 自動車乗車中の死者 20人(-17人)
- 国道での事故 19件(-12件)
- 車両相互事故 25件(-11件)
特に、正面衝突事故 7件(-10件)
- カーブ事故 15件(-9件)

◎ 増加が目立つ事故

- 女性運転者事故 8件(+2件)
- 自動二輪乗車中の死者 7人(+2人)
- 最高速度違反による事故 8件(+2件)

◎ その他

- 若年運転者事故は4件で全運転者事故の9.5%(前年7件:11.3%)
- 飲酒関係事故は1件(前年:2件)

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者) ※7月末集計現在

30日死者は10人で前年より2人減少し、このうち高齢者が5人(50.0%)と目立つ。また、状態別では、交通弱者6人(歩行者3人・自転車3人)、自動車3人、原付1人である。

参考:S45年:317人(年間死者数のピーク)